



## 今月の公開授業

### 「CMから消費行動を考える」

1年探究進学科 家庭科 教諭 角正 康弘

「CMから消費行動を考える」と題して、無駄遣いをしない賢い消費者になるにはどうしていけばよいかをテーマに授業を行いました。自己中心的になってしまいがちな消費行動ですが、今後は環境や他国の人々の視点を考えることや、インターネット、QRコード決済など社会の新たな仕組みを考慮した行動が求められるという意見が出されました。生徒は様々な意見に、お互い刺激をうけていた様子でした。

### 「デザイン&プレゼンテーション」 1年探究進学科 美術 教諭 伊藤 裕貴

1学期の授業は身の回りの問題発見からそれを解決するデザインを考え企画書にまとめるという内容で、最終日には各自が考案したデザインのプレゼンテーションを行いました。事後アンケートから、身の回りに存在するデザインの役割や、人が使うことを考えてデザインすること、伝わるように資料を作ってプレゼンを工夫することの重要性についての気づきがあったことがうかがえました。



### 現代社会 討論 「新型コロナウイルス後の社会」

1年探究進学科 地歴公民科 教諭 相道 孝志

7/8 (水) 7限目に、新型コロナウイルスの出現により、これからの社会がどう変化していくかについて、討論を行いました。リモートの仕事や会議が増えIT化が進行する、直接人と接する機会が減るなどの意見が多く出されました。その一方で、リモートの仕事が増えれば地方で生活することができ、人口減少傾向にある地方が活性化するチャンスが生まれるという意見も出ました。



## 第2回PT会議より

7/17 (金) に今年度2回目となる授業改善PT会議が行われました。

まず、小原先生(物理)から「振り返りと評価」についての実践報告がありました。今年度、小原先生は自作の授業用テキストを作成しています。そのテキストの最後のページに「振り返りシート」を設け、単元毎の学びをまとめ、自己評価をしたり、「未来の自分」のためにコメントを残したりするスペースを準備しました。これにより、生徒が学習内容を意識的にまとめたり、言語化したりすることができ、さらに、生徒からの質問をまとめ、それをクラス全体で共有することで、学びのフィードバックを行うことができました。

小原先生は他にも多岐にわたる取り組みをされています。例えば、考查結果をデータ化し生徒に提示することにより、考查や模試の振り返り方を2年生の段階で意識できるようにしたり、考查の解説動画を作成し、classiで共有することにより授業のスピードを保ったりしているようです。このような実践を継続して行い、それらの取り組みを形成的な評価へどのようにつなげていくかが今後の課題であると小原先生はまとめられていました。

続いて、山崎先生と吉村先生の「総合英語」と角正先生の「人間生活探究 家庭基礎」の授業実践報告がありました。「総合英語」の実践では、4回の授業を通して、プレゼンテーションの基本的な表現などを学び、各自が調べた絶滅危惧種についてまとめて、プレゼンテーションを行いました。この授業は、ある事象に対して「なぜ?」と疑問を持つ力・情報をつかむ力・協同する力をつけることを大きな目的としていました。

プレゼンテーションではグループに分かれ、順番に発表し、お互いの良かったところなどをコメントしあいました。ここでは、積極的に英語で話し合い、他の人の発表に耳を傾ける生徒の姿が見られたようです。今後の課題としては、自分の意見を発信するために英語の表現力をつけること、テーマの内容を「自分事」として捉えられるようになることだと山崎先生はおっしゃっていました。

### 「ギター 弾き語りライブ音楽」

1年1~8組 音楽 教諭 宇野 智子

毎年恒例のギター弾き語りライブ、今年も無事に開催することができました。楽器の習得に最も大切なことはそこに喜びがあること。「あれ??意外と弾ける?」という驚きや「上達している実感」「グループで協力して作り上げる楽しさ」を感じられるよう段階を追っていくつかの仕掛けを用意して授業を進めています。単に弾けるコードを増やすことが目的ではなく、実際の曲の中で歌とのマッチングやメンバーの特性がキラリと光る演奏を模索する過程を丁寧に積み重ねた結果は観客からの温かい拍手や賞賛の声となって生徒たちに返ってきます。



例年とは異なる状況の中、紋切型に「いつも通り」を目指すのではなく、小原先生のようにclassiやGoogle classroom等を駆使しながら、よりよい授業の在り方を模索していきたいです! 7月PT 通訳担当 室井 浩貴